

大阪工大通信 おっよと

みらいをつくる つたえる まもる。
大阪工業大学
OSAKA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

編集・発行/学生部学生課

〒535-8585 大阪市旭区大宮5-16-1

E-mail: OIT.Gakusei@joshu.ac.jp

Tel: 06-6954-4651 Fax: 06-6951-7760

おっよとWebsite (本号をはじめバックナンバーをアップ)
<https://www.oit.ac.jp/japanese/public/magazine.html>

OIT Website ▶ <https://www.oit.ac.jp>

大阪工業大学通信

おっよと No.287

2023年 10月

限界を超える成長がある

OVER THE LIMIT



CONTENTS

P2~3
学園祭特集「城北祭」「茶屋町祭」「北山祭」

P4~5
学生プロジェクト結果報告

P6
キャンドルナイトを実施 ほか

P7
学部関連記事 奨学金のご案内

P8
私の学生時代を振り返って ほか

城北祭

(大宮キャンパス)

2023 10/20(Fri) ▶ 22(Sun)
9:00~17:00(予定)

城北祭実行委員会
委員長
白波瀬 颯人



テーマ

「LEAP~OVER THE LIMIT」

今年の第75回城北祭は、2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」になったことにより、コロナ前の賑わいを取り戻した学園祭にしたいと考えています。また昨年、常翔学園は100周年を迎え、今年で101年目になります。新たな1年として城北祭でも色々なことに挑戦します。

当日は、ステージ企画、各課外活動団体によるパフォーマンス、城北祭実行委員会の企画などを予定しています。ステージ企画では、学内外の多数の団体による「演奏会」や旭区内の団体を招き、パフォーマンスを行っていただく「旭区連携企画」を予定しています。また、昨年近隣の方から「今年は芸人さんこーへんの？楽しみにしてたのに」とご要望があったので、今年こそはと声優の方とお笑い芸人の方をお招きするよう企画しています。是非ご来場ください。模擬店では、昨年よりも多くの出店を予定しています。

また昨年に引き続き、今年も21日(土)にキャンドルナイトを実施します。企画や模擬店、声優トークショーなどを楽しんでいただき、夜はキャンドルナイトで落ち着いた雰囲気を楽しんでいただけたらと思います。

城北祭実行委員会一同、全力で取り組みますので、是非ご家族やご友人をお誘いのうえ、ご来場ください。

茶屋町祭

(梅田キャンパス)

北山祭

(枚方キャンパス)

第75回 城北祭

LEAP ~OVER THE LIMIT~

2023 10/20 (fri) ▶ 10/22 (sun)



SPECIAL GUESTS



声優
梶 裕貴

声優 10月21日(土) 芸人 10月22日(日)

開場 11:00 閉場 12:30~13:30

開演 12:00

終演 13:00

※声優トークショーは有料です
一般 1000円

チケットはこちら



Event
OIT コレクション
キャンドルナイト
常翔学園吹奏楽演奏会
常翔学園中学校・高等学校
常陸朝日学園中学校・高等学校
清泉女子大学
大阪工業大学



主催：大阪工業大学 城北祭実行委員会
お問い合わせ：TEL/FAX 06-6953-8770
eメール shirokita_post3@outlook.jp

▶城北祭ステージスケジュール

10.20(Fri) 9:30~18:00

時間	イベント名
9:30~10:00	開催式
10:10~10:30	当日のプログラム紹介
10:30~12:00	文化会軽音楽部 パフォーマンス
12:00~14:30	OCF 軽音楽部 パフォーマンス
14:40~16:10	ピアノの会 パフォーマンス
16:30~17:40	カラオケ企画
17:50~18:00	明日のプログラムと終了の挨拶

10.21(Sat) 9:30~16:20

時間	イベント名
9:30~11:40	演武祭
11:00~13:00	声優トークショー(総合体育館)
11:40~13:00	アームレスリング大会
13:00~13:40	校友会ホームカミングデー
14:00~15:00	演劇部の公演
15:00~16:00	旭区連携企画
16:10~16:20	明日のプログラムと終了の挨拶

※18:00~21:00までキャンドルナイト

10.22(Sun) 9:00~18:00

時間	イベント名
9:00~12:10	吹奏楽演奏会(常翔学園中高・常翔啓光学園中高・摂南大学・大阪工業大学)
12:30~13:30	お笑いライブ
13:30~14:40	OIT コレクション
14:50~15:50	書道部 パフォーマンス
16:00~16:30	OIT コレクション結果発表
17:00~17:30	閉祭式

※(21日雨天時)18:00~21:00までキャンドルナイト

※各イベントの実施日時に変更する可能性があります。

HP ▶

<https://shirokitapost.wixsite.com/sirokitasai>



X (旧 Twitter) ▶

https://twitter.com/shirokita_fes?s=11



Instagram ▶

https://instagram.com/shirokita.fes?utm_medium=copy_link



2023 10/22 Sun
10:00～16:00(予定)

観覧
無料

お笑いライブ

10/22 (日) 11:00～11:30
梅田キャンパス 3階常翔ホール



永野

※当日、出演者を変更することがあります。

コンサート

10/22 (日) 14:30～
梅田キャンパス 3階常翔ホール

文化会ピアノの会
による演奏



茶屋町祭実行委員会メンバー

テーマ
「ステップアップ」

梅田キャンパス学園祭「茶屋町祭」の今年のテーマは“ステップアップ”です。このテーマには「昨年の茶屋町祭よりも多くの方に参加いただき、満足していただきたい」という茶屋町祭実行委員会の思いが込められています。

皆さまと楽しい時間を過ごせるよう、実行委員一同知恵を絞り企画中です。ご参加をお待ちしています！

企画・展示

10/22 (日) 10:00～16:00

- 茶屋町祭迷路・茶屋町祭スタンプラリー (茶屋町祭実行委員会)
- 縁日 (OIT 梅田ボランティア部)
- Design Thinking Hack 制作物展示 (デザイン思考実践研究部)
- 3D パズル&ゲーム体験 (イベントクリエイター部)
- 技術に触れよう! ロボット操縦体験&ものづくり体験 (梅田ロボットプログラミング部)
- DJ (OIT MUSIC CLUB サークル)
- 展望カフェ ケーキセット販売 (常翔ウェルフェア)

※前日 10/21 (土) 18:00～20:00
キャンドルナイト (19:00～ピアノ会コンサートも実施)

今年の茶屋町祭は私が委員長となってから2回目の開催になるので、昨年よりも多くの賑わいを見せる学園祭にしたいです。



茶屋町祭実行委員会
委員長
西谷 憲人

HP▼
<https://chayamachisai.wixsite.com/chayamachisai>



X (旧Twitter)▼
https://Twitter.com/oit_chayamachi



2023 11/3 Fri 祝
10:00～17:00(予定)

北山祭実行委員会
委員長
塚田 智哉



テーマ
「陽笑(ひしょう)」

第26回北山祭のテーマは「陽笑(ひしょう)」です。このテーマには「来場者が明るく笑顔になるような前回よりもレベルアップした北山祭にしたい」という北山祭実行委員会の強い思いが込められています。

今年の北山祭は、よしもとのお笑いライブやヒーローショー、課外活動団体によるパフォーマンス、ビンゴ大会に加え、前回よりもレベルアップした課外活動団体による模擬店の出店やフリーマーケットの開催を予定しています。フリーマーケットは北山祭の目玉であり、今年もたくさんのお店を予定しています。ステージの観覧は全て無料ですが、ビンゴカードの配布は先着順なので、ビンゴ大会に参加される際には、お早めにお越しください。皆様のご来場を北山祭実行委員会一同、心よりお待ちしております！

課外活動団体 企画・展示

- OITバーチャルライブ研究会
- Creative Sound Lab.
- 軽音部
- ジャグリングクラブTOSS
- 写真部
- Visual Acanthus Creation
- 文化表現部
- ubiquitous Robot Lab.

※当日の企画・展示等は
変更する場合があります。

▶北山祭ステージスケジュール

時間	イベント名
10:00～10:25	開会式
10:30～10:55	ウインドアンサンブル
11:00～11:30	ヒーローショー
11:40～12:10	ジャグリングクラブ TOSS
12:20～12:50	ストリートダンス部
13:00～13:30	よしもとのお笑いライブ
13:40～14:05	軽音部
14:15～14:45	ヒーローショー
14:55～15:20	ビートボックス
15:25～15:45	ピアノの会
15:50～16:40	ビンゴ大会
16:45～17:00	閉会式

※各イベントの実施時間に変更する可能性があります。
※よしもとのお笑いライブおよびヒーローショーの出演者は決定次第、北山祭実行委員会ホームページでお知らせします。

HP▶ <https://www.oitkitayamasai.net/>



人力飛行機プロジェクトが 「Iwataniスペシャル 第45回鳥人間コンテスト2023」で 3位に入賞しました

7月29日、30日に滋賀県彦根市の松原水泳場特設会場で開催された読売テレビ主催「Iwataniスペシャル第45回鳥人間コンテスト2023」の人力プロペラ機部門に本学の人力飛行機プロジェクトが出場しました。

今年の「人力プロペラ機部門」には13チームが出場し、本学は大阪工大の代名詞でもある1枚ブレードプロペラを採用した新機体「KAWASEMI-04」で大会に臨みました。

競技当日の天候は快晴で、早朝から徐々に気温が上昇し、人力飛行機の飛行にはやや難易度が高い環境下でのコンテストとなりました。今年のパイロット・石田嵩晴さん(M4)は、総合人間学系教室の西脇正人准教授から体づくりのトレーニングとコンディショニングに関する専門的な指導を受け、コンテスト当日の猛烈な暑さに慣れるための暑熱順化や、安定した精神状況を維持するためのルーティン作りなど、さまざまなトレーニングを重ねてきました。コンテスト当日はフライトの15分後には5km地点を通過するという驚異的な速度で飛行しましたが、琵琶湖洋上での不規則な風向きなどで、徐々に機体の高度が不安定になり、8566.72m地点で着水しました。これは本学の歴代で2番目の記録となりました。

一年間、チームを率いてきた中野雄一さん(E3)は「1年前、リーダーに選ばれたときから“新機体”を製作することが目標で、計画性をもって活動してきました。機体製作だけでなく、十分なテストフライト回数も確保したかったので、かなり厳しいスケジュールをチームメンバーにこなしてもらいました。その結果、昨年はテストフライトが37回だったのに対して今年は70回も行うことができ、十分な準備でコンテストに臨めたと思います。文句ひとつ言わずにつけてくれたメンバーに感謝しています」と晴れやかな表情をみせました。



「レスキューロボットコンテスト 2023」に 本学2チームが出場し 「レスキュー工学大賞」など受賞！

8月11日(1stステージ)、12日(ファイナルステージ)の2日間神戸サンボーホール(神戸市中央区)で開催された「レスキューロボットコンテスト2023」に本学ロボットプロジェクトチーム「大工大エンジュニア」と梅田ロボットプログラミング部「UP-RP(ウーパールーパー)」が出場しました。

大工大エンジュニアは「迅速な救助」をコンセプトに、今年はロボットを新しく製作し、2機のロボットでコンテストに臨みました。大会初日の1stステージでは、1号機の足回りと2号機のアームがトラブルにより動かなくなってしまい思いどおりの競技ができませんでしたが、1stステージを無事通過しました。ファイナルステージでは途中、1号機との通信不良のトラブルが発生しましたが、チームメンバー同士で声を掛け合い、うまくリカバリーしました。結果、同チームは、ロボットが通った後にケミカルライトを配置して、避難経路を示す工夫を行い、その点が評価され「日本消防検定協会理事長賞」を受賞しました。レスキューロボットコンテストリーダーの横山浩大さん(M3)は「今年は2機とも新作だったので、十分な練習時間を取れなかったことが課題でした。来年は今年の機体を改良して、練習を積み重ねていきたいです」と次年度への闘志を燃やしていました。

また、梅田キャンパスに拠点を置く梅田ロボットプログラミング部の「UP-RP」も、今年はロボットを新しく製作し、コンテストに臨みました。1stステージでは、ロボットの部品が外れるトラブルがあり、期待した結果にはなりませんでした。ファイナルステージでは予定どおりにロボットが動き、高得点を獲得しました。その結果、同チームは2回目の出場で「ベストロボット賞」「日本ロボット学会特別賞」「消防庁長官賞」「計測自動制御学会特別賞」を受賞しました。また、レスキュー工学の観点から、コンセプト・技術力・組織力を総合的に判断して最も優れたチームに対して贈られる同コンテストで最も権威ある「レスキュー工学大賞」を受賞することができました。昨年に引き続きリーダー2年目となる本多彩音さん(R3)は「ずっと夜遅くまでロボット製作や開発を行ってきたので、このような栄えある賞を受賞できてうれしいです。チームメンバーの努力が報われました」と笑顔を見せました。

今後も両チームの活動に期待してください。



大工大エンジュニア(黒)とUP-RP(ピンク)のメンバー

大工大エンジュニア

UP-RP





学生生活上の注意

2022年4月から成人年齢が20歳から18歳に引き下げられました。成年に達すると、親の同意がなくても自分の意思で様々な契約ができるようになります。安易に契約を交わすとトラブルに巻き込まれる可能性があるため十分注意してください。

マルチ商法、仮想通貨への投資(モノなしマルチ商法)など成年になったばかりの大学生を狙う悪質な業者もいます。「ブラックバイト」「闇バイト」などうまい話や楽して儲けるおいしい話には十分注意してください。

また、大学生が違法薬物(大麻、覚せい剤、マジックマッシュルーム、シンナー、合法ドラッグ、脱法ハーブ)等の栽培、購入、譲渡、所持、使用などニュースで報道されています。これらの行為は法律で厳しく規制されており、違反者は重い刑罰を受けるばかりか、大学としても厳正に対処することとなります。違法薬物等の乱用は、学生自身の人生を大きく変えるだけでなく、身近な大切な人を巻き込んだ事件・事故に発展することがあります。「合法」「安全」といった言葉を信用せず、勧められてもきっぱりと断ってください。

(関連資料: 霊感商法等の悪質商法対策)

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_education/public_awareness/teaching_material/material_011/

(関連資料: 薬物のない学生生活のために)

https://www.mext.go.jp/content/20210319-mxt_kenshoku-100000612_1.pdf



大阪工業大学キャンドルナイトを実施します



10月21日に大阪工業大学キャンドルナイトを大宮キャンパスと梅田キャンパスで実施します。大宮キャンパスでは「超キャンドルナイト～空からのぞく天体観測～」というテーマで、東中庭にキャンドルを灯します。今年は旭区役所に協力いただき、音楽家によるステージパフォーマンスや旭区商店会連盟による屋台出店や、近隣保育園と連携した作品展示を行います。

キャンドルナイト実行委員会では、コロナ禍に使用していたアクリル板を利用した「環境作品」の展示にも取り組んでいます。また、テーマにもあるとおり、ドローンを飛ばして、上空から地上のキャンドルを撮影して鑑賞する新しいキャンドルナイトの楽しみ方を提供します。

梅田キャンパス外周では、空間デザイン研究部の学生がキャンドルの展示を行います。水辺に反射する光をキャンドルとアルミホイルで表現します。キャンドルのあたたかい光をお楽しみください。

[大宮キャンパス] 時間: 18:00~21:00、場所: 東中庭

文化会書道部やOCF軽音楽部、旭区の演奏者によるパフォーマンスも実施

[梅田キャンパス] 時間: 18:00~20:00、場所: 梅田キャンパス外周

梅田キャンパス1階ギャラリーにて課外活動団体ピアノの会によるコンサートも実施(19:00~20:00)



建築学科の学生が旭警察署長から表彰されました

8月9日に賀谷陽樹さん(A3)が旭警察署長から表彰されました。賀谷さんは7月22日に警察官が追跡する犯人を認めるや否や、その逃走方向を的確に指示し、さらには犯人の逃走を防止するなど犯人検挙に貢献しました。旭警察署三谷署長は「今回の犯人検挙に貢献していただき、大変感謝している。今後も警察に協力をお願いしたい」と感謝の言葉を述べられました。

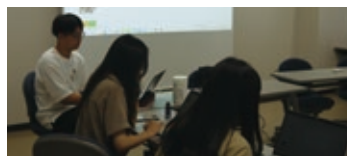


大学院知的財産研究科が夏期集中講義を開催

大学院知的財産研究科は8月28日から9月1日に、夏期集中講座を開催しました。コロナ禍後、初の大きな国際交流プログラムでした。本学が交流協定を締結している雲林科技大学、高雄科技大学、台北科技大学、世新大学から、教員と30名超の学生が参加し、本学学生とともに学びました。今回は「20年後の未来社会における知的財産の仕組みはいかにあるべきか」というテーマを設定しました。特許権の存続期間は20年です。特許権が切れる20年後の仕組み、とくに、AI、メタバース、SDGs、ヘルスケア、宇宙利用ビジネスという新しい領域の知的財産問題について、将来の社会を担う学生が講義を聴講し、企業を訪問し、さらに、日本と台湾の学生の混成グループによる一週間の討論と成果発表も行いました。両国の学生の交流は大変盛り上がりしました。今後も台湾の提携大学との交流を進め、来春には台湾の提携大学で集中講義を開催する予定です。コロナ禍で停滞していた国際交流を活性化させます。



講義風景



日本と台湾の学生の混成グループ



交流会の様子



ピアノの会が関西6大学合同 ピアノコンサートを開催しました

8月27日、28日に梅田キャンパス常翔ホールで、本学の課外活動団体「ピアノの会」が関西の5大学(大阪大学、関西学院大学、京都大学、同志社大学、立命館大学)と初めて合同でピアノコンサートを開催しました。

ジャンルは、クラシックやジャズ、ポップスやアニソンなど幅広く、演奏形式も連弾や弾き語り、セッションを取り入れました。観客からは、「楽しかった」「今後も続けてほしい」など、満足度の高い評価を得ることができました。

今回の開催は協賛企業を募り、大規模なものとなりました。部長の野田涼介さん(M3)は、「9か月間準備をし、無事に開催できたので、達成感を得られました。このコンサートが伝統となり、これをきっかけにしてピアノ弾きの学生同士のつながりができ、交流が活発になることを願います。」と語ってくれました。今後の活躍に期待しています。



救命講習会を実施しました

7月12日、枚方キャンパスでは、情報科学部課外活動団体対象に、安全意識を高めるサマー安全セミナーを実施しました。当日は17名の課外活動団体の代表が参加し、応急手当普及員の資格を保有する保健室の職員から心肺蘇生法やAEDの使い方などを学びました。終了後に枚方寝屋川消防組合が発行する「救命講習会の救命入門コースの参加証」が交付されました。

その後、情報科学部事務室から、課外活動団体として身の安全を確保した中での活動を意識することや事件・事故にあった際の大学への連絡対応など活動における注意点の指導を行いました。

また、大宮キャンパスでは9月15日に文化会本部主催で安全講習会を実施しました。当日は、旭消防署から講師をお招きし、約30名の文化系課外活動団体部員が心肺蘇生法やAEDの使用法について指導していただき、講習会終了後、受講者には「普通救命講習修了証」が交付されました。



枚方キャンパスの「サマー安全セミナー」の様子



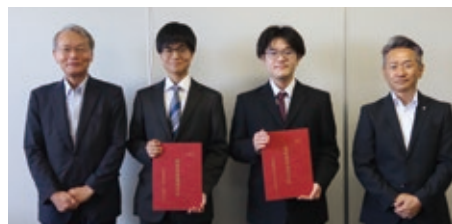
大宮キャンパスの「安全講習会」の様子



公益財団法人小野奨学会より本学学生が表彰されました

公益財団法人小野奨学会の令和4年度成績優秀者として、情報科学部4年次の小畑開さん、工学部3年次の田中蒼翔さんの2名が選出されました。小野奨学会では奨学生の学業及び学術研究を支援するため、前年の学業成績において優秀な成果を修めた奨学生に対して表彰を行っています。

田中さんは「これまで頑張って勉強してきたことが認められ、報われた気がしました。今後はより一層専門的な知識を深めていきたいです」と語ってくれました。



表彰を受けた田中蒼翔さん(左から2番目)と小畑開さん(左から3番目)



学生のみなさんが学業に専念できるように奨学金でサポートしています

●民間奨学団体(大学推薦型)にかかる事前登録

次年度の民間奨学団体(大学推薦型)への申請のため、推薦希望者の事前登録の受付を行います(原則、給付制)。登録することによって民間奨学団体の条件(学部、学科、学年、家計、成績等)に相応しい人物を学内での選考を経たうえで推薦しています。次年度の推薦に向けて、11月頃から登録の案内、登録書類の提出期間を設ける予定です。

●緊急時の援助制度 家計が急変した場合に利用できる援助制度で、随時申請を受付けています。

日本学生支援機構 給付奨学金「家計急変奨学金」

予期できない事由により家計が急変し、奨学金が必要となった場合に申し込むことができます(事由発生日から3カ月以内)。ただし、成績や家計基準による制限があります。

学生貸付金(本学独自制度)

親からの送金が都合で遅れた、急に帰省しなければならないなど、緊急に出費が必要となった場合は「学生貸付金」の制度があり、無担保・無利子で現金を借りることができます。

貸付金額：5万円まで

日本学生支援機構 貸与奨学金「緊急・応急奨学金」

家計を支えている者が、会社の倒産、失職、破産、病気、事故、死亡、離別等または火災・風水害による被災等などの理由により家計が急変し、緊急に奨学金が必要となった場合に申し込むことができます(事由発生日の翌月から1年以内)。

この他、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」や本学と提携している教育ローンもあります。

問い合わせ先

大宮キャンパス：厚生課[Tel:06-6954-4069]
梅田キャンパス：ロボティクス&デザイン工学部事務室[Tel:06-6147-6830]
枚方キャンパス：情報科学部事務室[Tel:072-866-5301]



卒業設計図面(実物はB1サイズ・8枚)

私の学生時代を振り返って

副学長(教育・研究改革、学生支援、産学連携担当) 岡山 敏哉

私の学生時代(今から40年以上前のことですが)の印象に残っている思い出のひとつは卒業研究です。私が在籍していた建築学科の卒業研究は、現在と同じように、卒業論文か卒業設計のいずれかを選択するということになっていて、私は後者を選びました。当時はグループでの製作が可能で、友人3人とグループをつくりました。4人全員が実家から通っていたのですが、大学の近くの木造アパートで4畳半と6畳の2部屋を借り、2人ずつに分かれて、提出までの約半年間、製図板の下に布団を敷いて寝るという生活を送りました。

計画対象地は「うめきた地区」です。1980年頃はまだ国際空港を泉州沖につくるという構想だけでしたが、大きな話題となっており、一方でそのアクセスが問題視されていました。私たちは、その課題に対して、ヘリコプターと船を使って空港にアクセスをする、チェックイン機能を持つシティアターミナル(CAT)を「うめきた地区」につく

る、そのCATに隣接して国際会議場や見本市会場などを建てる、そしてこれらの施設と大阪の都心や中之島をクルーズ船で回遊する、という提案を行いました。現在OCATが湊町に

でき、国際会議場が中之島に建てられ、中之島リパークルーズが運航し、また「うめきた地区」は、別の土地利用ですが、開発されており、私たちの提案がこの40年の間に段々と実現してきています。

大学時代の最後の半年間、夜中に即席ラーメンを食べながら将来の大阪の姿について侃々諤々(かんかんがくがく)の議論を行ったことが懐かしく思い出されます。

学生相談室
だより

認知症の世界を身近にする「デザインの力」

学生相談室カウンセラー 森崎 志麻

小説や映画の中で表現されている、様々な困難や葛藤を抱えた当事者の心の世界に触れて、その描写の細やかさやリアルさに感動することがあります。どんな専門書よりも当事者の世界を生きて伝えられるのは、やはり「物語の力」だなあと感嘆するのですが、最近、同じようなことを「デザイン」から感じました。それが、今回ご紹介する「認知症世界の歩き方 認知症のある人の頭の中をのぞいてみたら?」箕裕介著(ライツ社)という本です。

同書は旅行雑誌の表紙のように、「入るたびに泉質が変わる七変化温泉」「あつという間に時が経つトキシラス宮殿」といった興味をひかれるフレーズが表紙に並びます。中身を読むと、認知症のある方を「旅人」と呼んで、「旅人の声」として当事者の体験が紹介されています。例えば、「七変化温泉」では、お風呂のお湯が日によって熱く感じられたり冷たく感じられたり、ヌルヌル感じられたりといった身体感覚のトラブルが紹介されています。認知症のある方がお風呂に入ることを嫌がる背景には、こうした身体感覚の他に、服の着脱が困難になる空間認識や身体機能のトラブル、「自分はお風呂に入ったばかりだ」という時間感覚のズレなど、様々な要因が考えられることがイラストとともに視覚的にも分かりやすく示されています。

著者は社会的課題解決のためのデザインを研究・実践している方とのこと。「旅行記」という形式で表現することで、読者をその世界に引き込んで、症状だけ聞いてもなかなか想像しにくい当事者の感覚を、ありありと分かりやすく伝えてくれています。当事者に対する理解を広め、当事者と周りの人間をつなげているところに「デザインの力」を感じました。

「イマジナリー」

学生相談室カウンセラー 重田 智

印象的なエッセイに出会いました。作家の村田沙耶香さんによる「彼らの惑星へ帰って行くこと」というエッセイです。6ページの短い作品ですが、そこで語られる世界は非常に独特で、心に響くものがありました。エッセイに書かれているのは、著者の村田さんと「イマジナリー宇宙人」との交流です。子どもの頃から繊細で、周囲になじめず生きづらさを感じていた村田さんは、ある時「イマジナリー宇宙人」に出会ったといいます。「イマジナリー」という名の通り、目には見えない想像上の存在です。その出会い以来、現実世界(地球)にいる必要のあるとき以外は、その宇宙人の住む惑星へ行き、そこで暮らすことで、傷ついた心を回復してきたのだそうです。そして、そんな風に目に見えない存在に命を支えられている人は、意外とたくさんいるのではないかと綴っています。

私自身も想像の世界で過ごすことの多い子どもだったので、このエッセイには共感するところがたくさんありました。「イマジナリー宇宙人」と聞いて、何だそれは?と驚いた人もいるかもしれませんが、アニメや小説なども含めると、目に見えない存在や、現実とは異なる別の世界というのは、私たちにとって身近なものだと思います。ただ想像の世界で暮らすとなると、それは現実逃避ではないかと思うかもしれませんが、しかしそうした存在や世界があることで、心が守られ、命が支えられるのなら、それは逃避ではなく、生きるために必要な営みと言えるでしょう。想像の世界には可能性が無限に広がっています。目の前にある現実世界だけにとらわれず、自分らしくいられる世界、自分の心を守るための時間、そうしたものを大切にしていきたいものです。

(出典)村田沙耶香「彼らの惑星へ帰って行くこと」(「信仰」(文藝春秋、2022年)に収録)

常翔ウェルフェアニュース

JoshoWelfareNews

カフェテリアKITAYAMA

秋には窓から紅葉も楽しめる枚方の北山にあるのどかな食堂です。

日替わりの定食・丼物・定番のカレー・麺類に加え、焼き立てパンや工夫を凝らした総菜パンも手作りで販売しています。

是非一度お立ち寄りください。



工大流就職支援 62

～就職NEWS～

このほど2023年3月卒業・修了生を対象とした全国大学「実就職率ランキング」が公表されました。本学は実就職率98.1%で、卒業生数1,000人以上の国公立大学を対象としたランキングで全国第3位に、また、関西の私立大学では14年連続第1位となりました。(「大学通信オンライン」2023年7月21日掲載)。

この結果をもたらした大きな要因として、学生の皆さんがキャリア支援課におけるさまざまな就職サポートを積極的に活用していたことが挙げられます。なかでも個別面談は、すべての学科・専攻に配置している専属スタッフが、一人ひとりの学生に向き合いしっかり対話しながら履歴書やエントリーシートの完成に向けて共に歩いていくので、工大生にとって大変心強いサポートです。就職活動を終えた学生から「自己分析や面接練習で何度も対応いただきとても心強かった。」「早い時期から支援していただいたので、何一つ後悔せず就職活動をやりきることができた。」などたくさんの声が寄せられています。

本学では、学生の皆さんが安心して就職活動に臨めるように、これからも全力で工大生の就職活動をサポートします。質問や相談などあれば、いつでも気軽にキャリア支援課を訪ねてください。